



## 2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月10日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所東  
コード番号 8127 URL <https://www.yamatointr.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR経営企画室長 (氏名) 保田 大輔 TEL 03-5493-5629  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無： 無  
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年8月期第1四半期の連結業績（2024年9月1日～2024年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	4,938	△7.6	110	△59.2	125	△55.5	89	△59.9
2024年8月期第1四半期	5,344	4.4	269	△12.5	282	△30.4	222	△32.0

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 179百万円 (△45.3%) 2024年8月期第1四半期 327百万円 (4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	4.34	—
2024年8月期第1四半期	10.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期第1四半期	24,743	17,322	70.0	843.13
2024年8月期	24,007	17,348	72.3	844.41

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 17,322百万円 2024年8月期 17,348百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	6.00	—	10.00	16.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	6.00	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	2.9	240	23.9	285	15.8	215	13.7	10.46
通期	22,000	4.1	400	52.2	500	29.6	385	9.1	18.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期1Q	21,302,936株	2024年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	758,117株	2024年8月期	757,953株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期1Q	20,544,910株	2024年8月期1Q	20,545,987株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安の影響による物価高、金利・賃金の上昇等、「失われた30年」からの脱却を背景に長年続いた日本のデフレ経済が終焉しインフレ社会が現実となり、時代の転換期を迎えております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、社会経済活動の正常化やインバウンド需要の拡大が見られた一方で、長引く猛暑など予想をはるかに上回る気候変動や、継続的な物価上昇による生活防衛意識の高まりから、お客様の購買行動の変容が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でもどのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランド「シン・ブランド創り」を目指しております。

これらを背景に始動した中期ビジョン「Yamato 2026」では、10年後を視野に、既顧客の活性化を大前提としながらも、次の世代の潜在顧客獲得に より比重を置いた戦略を実践してまいります。そして、10年後のあるべき姿として、次の世代のお客様が当社のブランドを認知 認識し、私たち創り手の意図を理解し、詳細な特徴を語り他者へ共有できる、更にはお客様同士も共鳴できる状態。お客様も社員も誇れる真のブランドになっている姿を目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、「“大人のTPO”をスマートに演出するブランド」をコンセプトに、改めて原点である顧客起点に立ち返り、既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築してまいります。

潜在顧客の獲得に向けましては、クロコダイルグループにおける先進的な役割を担う2つの「ストラテジックライン」に注力してまいります。デザイン性トレンド性を最も重視したラインである「クロコダイル コード」は、24年春夏から商品構成を拡充し、アパレルに加え、足元も含めたスタイル/コーディネート提案を強化しております。もう一方の「スイッチモーション クロコダイル」は、先進的なスポーツ業界が取り組んでいる工夫や進化といった要素を取り入れ、「もの創り」を最も重視したラインとなり、引き続き戦略的に提供価値の構築を目指してまいります。

更に商品、店舗、コミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知 認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

「創造的な移動を続ける都市生活者のための機能服」をコンセプトに、オンラインショップをベースに展開する「CITERA (シテラ)」は、常に快適で洗練された、時代に響くスタイルを創り出し、ブランドの顔となる商品開発等に引き続き注力することで更なる売上拡大を目指してまいります。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield (ペンフィールド)」と、ハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt (ライトニングボルト)」は、ブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の更なる拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社は、自動ソーター及び自動製封函機に加え、カメラ認証システムを導入し業務の自動化や省人化を推進することで、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努めるとともに物流費や光熱費の高騰にも対応し、更なる生産性向上を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高が49億3千8百万円（前年同期比7.6%減）となりました。利益面では、売上総利益率は60.4%（前年同期比1.0ポイント減）となり、販売費及び一般管理費については28億7千4百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は1億1千万円（前年同期比59.2%減）、経常利益は1億2千5百万円（前年同期比55.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千9百万円（前年同期比59.9%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業48億6千8百万円（前年同期比7.7%減）、不動産賃貸事業7千万円（前年同期比1.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は116億8千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億4百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が13億5千9百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が8億9百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。なお、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は74億5千5百万円から14億6千2百万円減少し59億9千2百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は130億5千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ3千2百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が1千1百万円、投資有価証券が2千2百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は247億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億3千6百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は61億1千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億4千8百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が7億5千6百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は13億5百万円となり、前連結会計年度末と比べ1千4百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が2千万円減少し、繰延税金負債が4千万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は74億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6千2百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は173億2千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ2千6百万円減少いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が8千3百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.0%（前連結会計年度末は72.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年10月11日の「2024年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,155,520	3,594,101
受取手形、売掛金及び契約資産	1,244,374	2,053,938
有価証券	2,300,000	2,398,775
商品及び製品	2,070,700	3,430,389
仕掛品	85,664	106,744
その他	125,410	101,799
流動資産合計	10,981,670	11,685,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,379,936	1,375,210
機械装置及び運搬具（純額）	98,200	93,847
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産（純額）	28,263	24,312
建設仮勘定	220	23,642
その他（純額）	77,428	78,524
有形固定資産合計	6,763,117	6,774,604
無形固定資産		
投資その他の資産	10,330	8,496
投資有価証券	5,861,536	5,884,069
差入保証金	121,673	121,646
退職給付に係る資産	195,182	198,037
繰延税金資産	2,262	2,466
その他	99,011	96,351
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	6,251,994	6,274,899
固定資産合計	13,025,442	13,058,000
資産合計	24,007,113	24,743,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,870	743,381
電子記録債務	3,514,315	4,271,245
1年内返済予定の長期借入金	220,043	203,210
未払法人税等	63,216	44,083
賞与引当金	74,502	—
その他	886,691	854,757
流動負債合計	5,368,639	6,116,677
固定負債		
長期借入金	558,250	538,240
資産除去債務	78,728	76,199
繰延税金負債	432,066	472,709
その他	221,104	217,919
固定負債合計	1,290,150	1,305,069
負債合計	6,658,789	7,421,746
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	6,521,562	6,405,309
自己株式	△364,510	△364,562
株主資本合計	16,063,397	15,947,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,303,764	1,387,238
繰延ヘッジ損益	△5,335	997
退職給付に係る調整累計額	△13,502	△13,324
その他の包括利益累計額合計	1,284,926	1,374,910
純資産合計	17,348,323	17,322,002
負債純資産合計	24,007,113	24,743,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	5,344,830	4,938,779
売上原価	2,063,428	1,954,004
売上総利益	3,281,402	2,984,775
販売費及び一般管理費	3,011,690	2,874,751
営業利益	269,711	110,023
営業外収益		
受取利息	4,685	8,135
受取配当金	3,454	4,112
為替差益	1,486	1,643
その他	5,770	4,347
営業外収益合計	15,396	18,238
営業外費用		
支払利息	2,125	1,800
その他	305	686
営業外費用合計	2,431	2,487
経常利益	282,676	125,775
特別損失		
固定資産除却損	—	148
特別損失合計	—	148
税金等調整前四半期純利益	282,676	125,627
法人税、住民税及び事業税	60,428	35,666
法人税等調整額	△277	764
法人税等合計	60,151	36,430
四半期純利益	222,525	89,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,525	89,196

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	222,525	89,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111,215	83,473
繰延ヘッジ損益	△7,768	6,332
退職給付に係る調整額	1,619	177
その他の包括利益合計	105,065	89,984
四半期包括利益	327,591	179,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,591	179,180
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維製品製造 販売業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,273,110	71,719	5,344,830	—	5,344,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,273,110	71,719	5,344,830	—	5,344,830
セグメント利益	408,163	43,251	451,414	△181,703	269,711

(注) 1. セグメント利益の調整額△181,703千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維製品製造 販売業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,868,038	70,741	4,938,779	—	4,938,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,868,038	70,741	4,938,779	—	4,938,779
セグメント利益	254,448	37,979	292,428	△182,404	110,023

(注) 1. セグメント利益の調整額△182,404千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	39,349千円	42,900千円